# 2010年3月期決算説明会

カシオ計算機株式会社

2010年5月12日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、
現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的
なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは
異なることがありますことをご承知おき下さい。

# 2010年3月期連結決算概況



単位：億円

| 連　結 | 2009／3月期（53期） | 2010／3月期（54期） | | |
|---|---|---|---|---|
| | 通期実績 | 修正(2/5) | 通期実績 | 計画比 |
| 売上高 | 5，180 | 4，350 | 4，279 | －71 |
| 営業利益 | 40 | ▲300 | ▲293 | ＋7 |
| 経常利益 | ▲14 | ▲280 | ▲251 | ＋29 |
| 当期利益 | ▲231 | ▲220 | ▲210 | ＋10 |

# 2010年3月期通期売上・営業利益の概況



２／５修正計画どおりの着地となった

## 売上

◆前期比−901億円減収の要因

・携帯電話：65%、デジタルカメラ：15%、デバイス：13%

## 営業利益

◆前期比−333億円減益の要因

・全て携帯電話

# 2011年3月期決算予測



単位：億円

| 連　　結 | 2010／3月期（54期） | 2011／3月期（55期） | |
|---|---|---|---|
| | 通期実績 | 通期計画 | 前年比 |
| 売上高 | 4，279 | 3，750 | －529 |
| 営業利益 | ▲293 | 150 | ＋443 |
| 経常利益 | ▲251 | 130 | ＋381 |
| 当期利益 | ▲210 | 70 | ＋280 |

# 今期の重点

1. アライアンス効果
2. デジタルカメラの利益改善
3. 基盤事業の収益拡大
4. 新規事業の早期事業貢献

# 今期の重点



## デジタルカメラ

◆差別化技術による新ジャンル創出

・GPS＋モーションセンサー搭載モデル投入

◆ハイスピードとダイナミックフォトの差別化機能の使い方／楽しみ方まで踏み込んだ商品提案

## 新規事業

◆アートフレーム及びアートクロックの早期事業貢献とアートのデジタル化の完成と事業拡大

◆スタンドアローンからネット端末への大転換

新しい文化の創造によって

新しいビジネスが生まれる

0→1

# セグメント別売上・営業利益

＜ご参考＞

単位：億円

| 2010／3月期（54期） | |
|---|---|
| 売上高 | 実績 |
| コンシューマ | 1，617 |
| 時計 | 781 |
| MNS | 1，057 |
| 情報機器 | 351 |
| デバイス | 204 |
| その他 | 269 |
| 合計 | 4，279 |
| 営業利益 | 実績 |
| エレクトロニクス機器 | ▲200 |
| デバイス・その他 | ▲48 |
| 消去 | ▲46 |
| 合計 | ▲293 |

| 2011／3月期（55期） | | |
|---|---|---|
| 新セグメント | | |
| 売上高 | 通期計画 | 内 上期 |
| コンシューマ※（デジタルカメラ、時計、電子辞書、電卓、楽器） | 2，870 | 1，390 |
| システム | 500 | 220 |
| その他 | 380 | 190 |
| 合計 | 3，750 | 1，800 |
| 営業利益 | 通期計画 | 内 上期 |
| コンシューマ | 227 | 87 |
| システム | ▲22 | ▲12 |
| その他 | 0 | 0 |
| 消去 | ▲55 | ▲25 |
| 合計 | 150 | 50 |

※ｺﾝｼｭｰﾏ売上内訳:ﾃﾞｼﾀﾙｶﾒﾗ 1，000億、時計 860億、その他 1，010億

END